

まちな話題

まちなイベントや地域の話題をお届けします。



【引揚救助の様子】

災害を想定し、種目ごとに救助技術の『安全性・確実性・迅速性』を競い合う同大会において、「ロープブリッジ救出」の部で一位の銘苅大志、瀬良垣弘成、儀保竜二、山内一晃のチームが九州大会へ、「ほふく救出」の部で一位の阿波根大地、平良大作、新里将司のチームが全国大会への派遣が決定しました。

4/30 第38回 沖縄県消防救助技術指導会



児童少年の健全育成に取り組んでいる民間団体に対し、活動に必要な物品費用を助成しているニッセイ財団から、本市の団体である「うるま市ジュニアオーケストラ」「わいわいキッズ（創作太鼓）」「石川ひまわりキッズシアター」に対し、県庁で助成目録の贈呈式がありました。贈呈を受けました各団体は、子ども達を育んでいく活動に向けて、更なる意欲を見せました。

6/11 平成26年度ニッセイ財団 児童少年の健全育成助成

児童少年の健全育成に取り組んでいる民間団体に対し、活動に必要な物品費用を助成しているニッセイ財団から、本市の団体である「うるま市ジュニアオーケストラ」「わいわいキッズ（創作太鼓）」「石川ひまわりキッズシアター」に対し、県庁で助成目録の贈呈式がありました。贈呈を受けました各団体は、子ども達を育んでいく活動に向けて、更なる意欲を見せました。



3月14日、うるまに來館した女性が心肺停止の状態に倒れ、うるま市社会福祉協議会職員9名の連携による迅速な通報、適格な心肺蘇生法及びAEDの使用で救命処置を実施し、尊い命が救われました。その功績に対し、市消防本部は同協議会に対し、感謝状を贈呈しました。

6/13 消防協力者表彰

3月14日、うるまに來館した女性が心肺停止の状態に倒れ、うるま市社会福祉協議会職員9名の連携による迅速な通報、適格な心肺蘇生法及びAEDの使用で救命処置を実施し、尊い命が救われました。その功績に対し、市消防本部は同協議会に対し、感謝状を贈呈しました。



【仲良し地蔵に手を合わせず参列者】

米軍ジェット戦闘機が石川の宮森小學校に墜落した事故から55年となった6月30日、事故の犠牲者18人を追悼する慰霊祭が同校で行われました。参列者は米軍機が墜落した午前10時40分に手を合わせ、黙とうをささげました。

6/30 決して忘れてはいけない 宮森小慰霊祭

米軍ジェット戦闘機が石川の宮森小學校に墜落した事故から55年となった6月30日、事故の犠牲者18人を追悼する慰霊祭が同校で行われました。参列者は米軍機が墜落した午前10時40分に手を合わせ、黙とうをささげました。



【九州大会に向けて意気込む選手たち】

4月20日行われた第6回中部北支部春季学童軟式野球大会の決勝戦において、与那城ストロング（うるま市）を7対6で逆転勝ちし、見事2年ぶりの優勝に輝きました。優勝後のコメントで「相手の隙を突き、勇気が必要なプレーができた。」（蔵元孝雄監督）と選手たちを褒め称えました。同チームは、8月に福岡県で行われる「とびうお少年野球大会」へ派遣されます。市役所を訪れた選手を代表して蔵元賢人主将が、「絶対優勝してきます！」と力強く決意表明しました。

6/12 勝連双葉が優勝の栄冠 中部北春季学童軟式野球大会



【それぞれの想いを堂々と語った生徒たち】

今年で10回目となる、「うるま少年の主張大会」が、市民芸術劇場で開催されました。市内各中学校生徒代表の11名が、学校や家庭等で日頃考へ感じている事や、自らの体験を通して得た意見を主張し、観衆に感銘を与えました。最優秀賞には、与勝緑が丘中学校2年の西野萌花さん、石川中学校3年石川プリンスエメルジュニアさんが選出され、二人は9月3日に行われる「第29回中頭地区少年の主張大会」に市代表として出場します。

7/10 第10回 少年の主張大会